

ユニフォームの リニューアル再び

アウルでは、チームとしての意識を高めるユニフォームを、オープン時から重視してきました。2012年11月にはデザインを刷新。ロゴ刺繍入りにリニューアルをし、第19回の本欄でもお知らせしました。

その2年後の今秋、再度ユニ

フォームを見直し、リニューアルを図りました。大きな変化はアイテムの追加です。ジャージ素材のロゴ刺繍入りカーディガンが加わり、肌寒い今の時期の外出に役立っています。

デザインも少し変え、衿には縁取りのアクセント、生地には無地のほか細かい格子柄が新登場。着て楽しいユニフォームで、チーム力をさらに高めます。



ご寄贈に感謝いたします

北海道新聞の「譲ってください」欄で求めた電動ろくろをご寄贈いただきました。職員がかわいらしい犬の顔を



ペイントし、陶芸教室で活用しています。どうもありがとうございました。

いやし課見習い補 りりこ&ここな

「箱入り娘」ならぬ「たらい入り娘」の「りりこ」です。



最上級のサービス業

介護の仕事始めて1年7カ月が経ちました。以前は飲食や接客の仕事をしていました。私が急に介護の勉強を始めたので、家族や友人からは「なんで介護なの?」と聞かれました。



介護職員 酒田裕子

これまでお客様に提供してきたのは商品や食べ物でしたが、今は私の技術を肌と肌が触れ合うとても近い距離で提供しています。入居者様が求められていることを日々の生活の中で理解し、お応えする。それも過剰にならないよう配慮して。このような介護の仕事は最上級のサービス業です。実際に働いてみてよくわかりました。

仕事なので大変なことはたくさんありますが、一方で入居者様に癒される機会もまたたくさんあります。サービス業は一方通行ではなく、行ったこと以上に笑顔や感謝の言葉をいただくと知り、もっと頑張ろうと思いました。

スタッフ リレーエッセー

●介護付有料老人ホーム(一般型特定施設入居者生活介護)

アウルコート真駒内

〒005-0016 札幌市南区真駒内南町4丁目5-3
TEL.011-588-1122 FAX.011-588-1133
入居相談受付中 ☎0120-916-768

- 地下鉄南北線「真駒内」駅下車
- じょうてつバス「真駒内駅前」停で真駒内線に乗車(約5分)「南町4丁目」停下車(徒歩約4分)

アウルコート真駒内 検索 <http://www.owlcourt.jp>



ふくろうの家 その32 2014年12月 だより

●発行/株式会社私の青い空
●編集/アウルコート真駒内広報室 〒005-0016 札幌市南区真駒内南町4丁目5-3 ☎011-588-1122



朝日新聞と広島地方気象台

代表取締役 武田 治信

20年以上前の従軍慰安婦問題の誤報を訂正せずに流し続けた朝日新聞。購読者数はメジャー新聞でも2位につけるほどで、不偏不党の地に立って言論の自由を貫くという素晴らしい綱領を持っていたにも関わらず、この問題が放置されていたのは非常に寂しい話です。社員の中には、誠実に真摯に勤めている方々も多くいるでしょう。その方たちにとってもとても残念なことです。

このニュースで思い出したのが、ノンフィクション作家の柳田邦男氏が職務を忠実に徹底して遂行した人のことを描いた『空白の天気図』です。昭和20年9月17日に九州から広島を襲った枕崎台風のことを克明に記録しています。広島で2千人を超える犠牲者を出したこの台風の背景に原爆がありました。本書は終戦直前の広島原爆投下から描かれており、原爆投下直後の様子も詳細に記

載され、被爆の生々しさが伝わってきました。

そんな状況下で、広島地方気象台の観測職員たちは、8月6日の原爆投下の日も、8月15日の終戦記念日も欠測なしで、様々な気候の観測をし続けたとのこと。原爆のため業務の回復が遅れ、情報孤島と化す中でも気象業務に専念し、忠実に気象観測の記録をとり、研究を行い、災害の調査をまとめる仕事に半生を捧げたのは、普通の気象人たちです。いつ如何なる時にも気象観測をし続けるという観測精神に基づき、当たり前のこととして職務に当たった記録が綴られていました。

朝日新聞と広島地方気象台。仕事への取り組み方に大きな隔たりを感じます。如何なる状況にあっても職務を貫くという当たり前のが普通に出る職場環境の大切さ、重要さを改めて考えさせられます。



▲左から江崎さん、伊藤さん

新しい顔が登場

アウルコート真駒内では、「いきいきサロン」と題してレストランコンサートを春と秋の年2回開催しています。第1回に登場してくださったのは横田朱乎さんとザ・モダン・バロック!!の皆さん。以来、毎秋には横田さんを招き、バロックをモダンにアレンジした音楽で芸術の秋を満喫しています。

今年のコンサートは10月30日(木)に開催されました。平日にもかかわらず、入居者様のご家族16名、地域の方4名のご参加があり、横田さんの人気ぶりが伺えました。今回の共演メンバーはこれまでのザ・モダン・バロック!!ではなく、江崎浩司さん(リコーダー)と伊藤一人さん(ピアノ)という、ソロで



▲終演後、演奏者にお花を贈呈

演奏活動をされ、テレビ出演や文化センター講師などもこなす実力派のお二人。いつもリコーダーを演奏している横田さんは今回歌に徹しました。

ブラボー!の声も

演目には、クラシックの名曲はもちろん、タンゴ風の「エリー

ゼのために」、テレビ番組用に30秒の長さに編曲した「剣の舞」、題して「剣の小舞」などひとひねりしたアレンジ曲や童謡・歌謡曲もあり、実にバラエティ豊か。知らず知らずに音楽の奥深さを堪能できるプログラムになっていました。

演奏の合間のトークでは江崎さんが大活躍。軽妙な話術で会場を大いに笑わせました。「こういうとき、外国の人はブラボー!と言うんですよ」と江崎さんが水を向けると、会場から「ブラボー!」と声がかかるようになり、場の空気はリラックスムードに変化。これまで以上に演者と聴き手の距離が近づき、アウルらしいアットホームなコンサートとなりました。



音楽で満喫した芸術の秋

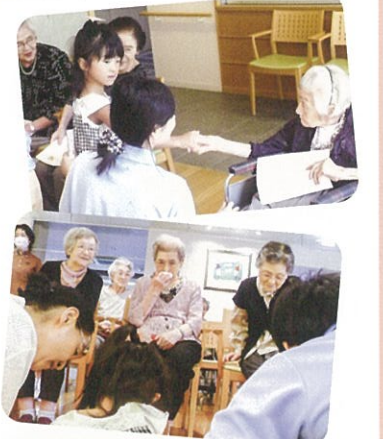
こころ潤す演奏と笑いあふれるトーク



アウルの四季彩々日記

園児たちが今年も来訪 敬老会で楽しく交流

9月11日(木)の敬老会に、今年も真駒内の保育所「遊・Wing」の子どもたちが来てくださいました。和太鼓の演奏を披露し、似顔絵描きでは入居者様と直接交流。最後には、子どもたちお手製のプレートを記念にいただきました。元気でかわいい子どもたちの姿に、入居者様は終始目を細めていました。



●7/22(火) 乳酸菌の健康教室

「おなかの健康」と題し、札幌ヤクルト販売さんが出前講座を実施。普段話題にしづらいためお通じの悩みを持つ方は多く、解決のよい機会となりました。

●9/19(日) アウルの野菜で収穫祭

毎年恒例の秋の収穫祭。残念ながら今年是不作でしたが、自家菜園の滋味は格別。小さめのじゃがいもは、小粒だからこそできる皮付きの素揚げでいただきました。



●9/30(火)・10/20(月) サンマの炭焼きに舌鼓



昨年初めて企画したサンマの炭焼き。好評に応え今秋は2回行い、雨天でもターフを張って決行。食欲をそそる香りが中庭いっぱいになり、おいしさも倍増でした。